

第七十回帝國議會  
衆議院

# 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

## 付託議案

絲價安定施設法案(政府提出)  
絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

### 會議

昭和十二年三月二日(火曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 紫安新九郎君

理事小山邦太郎君 理事飯田 助夫君

理事横川 重次君

野田文一郎君

最上 政三君

篠原 義政君

森 幸太郎君

青木 精一君

平野 力三君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 山崎達之輔君

出席政府委員左ノ如シ

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

農林書記官 周東 英雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

絲價安定施設法案(政府提出)

絲價安定施設特別會計法案(政府提出)

○紫安委員長 是ヨリ開會致シマス

○井野政府委員 大臣ガマガ御見エニナリ

マセヌカラ、ソレマデ事務的ノ質問ヲドウゾ……

○篠原委員 ソレデハ一ツ政府委員ノ方ニ御伺シタイト思ヒマスガ、此法律案ノ中デ、勅令ヤ命令ニ讓ッテ居ル事項ガアルト思ヒマスガ、其勅令命令ニ讓ッテ居リマスルモノハ概要下シナコトヲ讓ッテ居ラレマスガ、若シ何カ調査デモンシテアリマスレバソレヲ伺ヒタイ

○井野政府委員 法律デ命令ニ讓ッテ居リマス事項ハ、何レ一兩日中ニ刷リマシテ御手許ニ差上ゲタイト思ヒマスガ、大體讓ッテアリマス事項ハ、運用ノ細カイ手續デアリマストカ、ソレカラ絲價安定施設組合ノ組織ノ問題デアリマストカ、主トシテ施行上ノ細則ヲ勅令及ビ命令ニ讓ッテアリマス、併シ其内容ハ何レ刷リマシテ御配リ致シタイト思ヒマス

○篠原委員 此法律ハ何時施行ニナル見込デゴザイマセウカ

○井野政府委員 特別會計法ノ關係上四月一日カラ施行致ス豫定デゴザイマス

○篠原委員 是ハ昨日或ハ他ノ委員カラ聽

イタコトカモ知レマセヌガ、此施設法ニ依リマシテノ賣渡價格ト買入價格ハ、凡ソドノ位ノモノニナリマスガ、當局ノ御考ヲ承リタイ

○井野政府委員 昨日モ申上ゲマシタヤウニ、具體的ノ買入價格及ビ賣渡價格ハ、絲價安定委員會ニ諮問致シマシテ、其時々ノ情勢ニ依リマシテ決メルノデアリマスカラ、今此處デ幾ラ位ト云フコトハハッキリ無論申上ゲラレナイノデアリマスガ、大體ノ基準ハ法律ニモ書イテアリマシヤウニ、賣渡價格ハ、競争織維ト書イテアリマスガ、主トシテ入絹ヲ目標トシテ居リマスガ、入絹ノ三倍カラ四倍ノ間位ヲ目標ニ今ノ所デハ致シテ居リマス、其程度ノ値段ヲ目標ニシマシテ、委員會ニ諮問シテ其當時ノ物價、爲替狀況ヲ色々考慮シマシテ、決定シテ行ク譯デアリマス、買入價格ノ方ハ、繭ノ生産費ノ中ノ現金支出ニ自給費ノ一定割合ヲ加ヘマシタ額ヲ基準トシテ、ソレニ製絲加工費ヲ加ヘマシテ、所謂生絲ノ或ル一定ノ値段ガ出來ル譯デアリマスカラ、ソレヲ基準トシテ、ソレニ其當時ノ物價其他ノ事情

ヲ參酌シマシテ決メル譯デアリマス、隨テ昨日モ申シタヤウニ現在ノ繭ノ生産費ト云フモノハ四回前後シテ居リマスカラ、ソレヲ基準トシテ出シマスト六百圓以上ノ絲價ニナル譯デアリマス、サウ云フヤウナ絲價ヲ維持スル積リハナイ、モウ少シ低イ所ヲ維持スル目標デアルト云フ風ニ大體御諒承願ヒタイト思ヒマス、併シ具體的ノ値段ハ其時々ノ委員會ニ依リマシテ決メル譯ニナルト思ヒマス

○篠原委員 現金支出ト云フト自給費ト云フモノニ付、當局ノ御考ヘニナッテ居ル其内容ハドンナモノデアリマセウカ

○井野政府委員 金錢支出ト自給費ト申シマスノハ、養蠶家ガ養蠶ヲ致ス上ニ於テ、金錢ヲ以テ拂ヒマスモノガ金錢支出デアリマス、其他ノモノガ自給費、斯ウ考ヘテ居リマス、生産費ヲ構成スル要素ハドウ云フモノデアアルカト言ヘバ、桑葉費デアルトカ、勞賃、宅地建物費、蠶具費、蠶種代、消耗品代、諸稅諸掛、雜費ト云フヤウナモノデアリマスガ、其中デ假ニ桑葉費ニシテモ、桑ヲ買ッテ致ス場合、即チ買桑ハ金錢支出ニナリマス、

又其他ノモノハ自給費ニナルノデアリマス、又勞賃モ人ヲ雇フ勞銀ヲ支拂ヒマシレバ、ソレハ金錢支出ニナリマス、自家勞力ヲ以テシマスレバソレハ自給費ニナリマス、蠶具代ニシテモ自分ノ所で作レバ自給費ニナリ、買ヘバ金錢支出ニナル、其割合ハ大體四割ト六割、詰リ金錢支出ガ大體生産費ノ四割乃至五割位ノ所ヲ占メテ居リマス

○篠原委員 サウシマス、是ハ養蠶家ノ個々ノ經濟ノ立場ニ依リマシテ、現金支出ト云フ額ハ皆違フト思ヒマスガ、コ、デ謂フ現金支出ト云フノハ、ソノドレヲ採ラレル積リデアリマセウカ

○井野政府委員 生産費ヲ調べマスノニ、或ル一定ノ養蠶戸數ヲ選ビマシテ、其戸數ノ中ノ現金支出ヲ調べ、又其他ノ自給費ヲ調べマシテ、各ヲ加ヘマシタ、詰リ平均ヲ以テマシテ自給費ト現金支出ノ割合ニシヨウト思フテ居リマス、併シ大體ハ色々ノ從來カラノ養蠶農家ノ調査ニ依リマシテ、各方面で調べマシタモノノ割合ガ、大體其程度ノ割合ニナッテ居リマスカラ、先ヅ其四割乃至五割位ガ現金支出デアルト云フ風ニ觀察シテ行ク積リデアリマス

○篠原委員 農林大臣ガオ見エニナリマシ

タカラ大臣ニ御伺致シマスガ、是ハ私本會議デモ一寸御尋申上ゲタノデスガ、此絲價安定施設組合ト云フ此組合ノ中ニ養蠶家ヲ入レテ居ラヌト云フ、其根本ノ理由ヲ詳シク御伺申上ゲマス

○山崎國務大臣 此施設組合ハ御承知ノヤウニ決ツタ高値ノ場合ニ、其高値ニ依ル所ノ買入申込ニ對シテ賣渡ヲスル、又最低價格ノ場合ニ申込ニ依ッテ買入ヲスルト云フ賣買ノ行爲ヲスルノト、共同保管ノ行爲ヲスルモノデアリマスカラ、其施設組合ソレ自體ニハ養蠶家ヲ参加セシメルノ必要ハナイト思フノデアリマスガ、養蠶家ノ利益ニ最も直接關係ノアリマスコトハ、御想像ノ通り買入價格ト賣渡價格ノ値段ノ決メ方ガ、一番重要ナ利害關係ヲ持ツ譯デアリマスカラ、ソレヲ決定スル委員會ニ養蠶家ノ代表ニ入ッテ貰ヘバ、ソレデ養蠶家ノ利益ヲ擁護スルコトガ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ考デアル譯デアリマス

○篠原委員 成程委員會ノ方ニ入レバ、其買入價格、賣渡價格ノ決定其モノニハ參畫出來マスカラ、形式上ニ於テハ養蠶家ノ利益ガ擁護サレルヤウニ考ヘルノデアリマス、併シサウシテ其標準ヲ御決メナリ、其決ツタコトニ付テ、謂ハ、事實ノ執行機

關、事實上其行動ヲスルト云フ安定組合其モノガ、實際ニ於キマシテハ決定的ナ可ナリ強イカト働キヤスルモノダト思フノデアリマス、其方ニ養蠶家ガ拔ケテ居ルコトハ實際ニ於テヤハリ養蠶家ノ利益ト云フモノガドウシテモ閉却サレ勝チニナリ、製絲業者ノ利益ヲ當面ノ中心トシテ行動シタガルト云フコトハ、私ハ是ハ單純ナル杞憂デヤナイト思ヒマス、サウ云フ考ヘ方カラ言ヒマスレバ、ヤハリ施設組合其モノニ養蠶家ノ發言權ト云フカ、養蠶家ノ力ヲ入レテ、ソレガ一緒ニ東ニナッテ此安定ヲヤルト云フノデナケレバ、養蠶家ノ立場ト云フモノハ製絲業者ニ比ベテヒドク輕イモノニナッテシマフト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○井野政府委員 私ヨリ補足シテ申上ゲマスルガ、此施設組合ハ先程大臣ガ申上ゲマシタ通りニ、委員會ニ諮問シマシテ、農林大臣ガ決定サレマシタ賣渡價格、又ハ買入價格ニナリマスレバ、其組合ノ意思如何ニ拘ラズ、買入價格ニ對シテハ買ハナケレバナラヌシ、又賣渡價格ニナリマスレバ、申込ガアレバ賣ラナケレバナラヌト云フ譯デアリマス、併シサウシテ其標準ヲ御決メナリ、其決ツタコトニ付テ、謂ハ、事實ノ執行機

關、事實上其行動ヲスルト云フ安定組合其モノガ、實際ニ於キマシテハ決定的ナ可ナリ強イカト働キヤスルモノダト思フノデアリマス、其方ニ養蠶家ガ拔ケテ居ルコトハ實際ニ於テヤハリ養蠶家ノ利益ト云フモノガドウシテモ閉却サレ勝チニナリ、製絲業者ノ利益ヲ當面ノ中心トシテ行動シタガルト云フコトハ、私ハ是ハ單純ナル杞憂デヤナイト思ヒマス、サウ云フ考ヘ方カラ言ヒマスレバ、ヤハリ施設組合其モノニ養蠶家ノ發言權ト云フカ、養蠶家ノ力ヲ入レテ、ソレガ一緒ニ東ニナッテ此安定ヲヤルト云フノデナケレバ、養蠶家ノ立場ト云フモノハ製絲業者ニ比ベテヒドク輕イモノニナッテシマフト思フノデアリマスガ、如何デアリマセウカ

○篠原委員 御説明ヲ承ッテ居リマスルトソレデ宜イヤウニ思ヘルノデアリマス、併シ實際ニ於キマシテ、絲價安定委員會ノ働

ナリ、色々ノ行爲ヲ致シマスニモ、發動ニ際シマシテハ農林大臣ノ悉ク認可ヲ受ケナケレバナラヌ、其認可ヲ致シマス際ニハ、必ず絲價安定委員會ニ諮問スルコトニナッテ居リマス、デアリマスカラ絲價安定施設組合ガ苟モ色々ノ行動ヲ發動シマスルニハ、必ず此絲價安定委員會ノ議ヲ經ルコトニナルノデアリマスカラ、其中樞機關ニ於テ、養蠶家ガ參畫致シテ居リマスカラ、此組合自體ニ養蠶家ガ加ハルト云フコトハ、寧ロ却テ色々ノ迷惑ガアリ得ルト思フノデアリマス、例ヘバ經費ヲ負擔シナケレバナラヌトカ、色々ノ點ニ於テ必要ノナイ養蠶者ガ加ハッテ、而モ色々ノ經費ヲ負擔スルト云フコトハ、寧ロ避クベキデアルト考ヘマシテ、製絲家中心ノ組合ニ致シタノデアリマス、此點ハ養蠶業組合等ニ諮問致シマシタ際モ、篠原委員ト同ジヤウナ疑問ガ委員ノ中カラ出マシテ、其事情ヲ能ク申シマシタラバ、非常ニ諒解シマシテ、成程絲價安定施設組合ハ入ル必要ハナカラウ、委員會サヘ入ッテ居レバソレデ十分デアラウト云フコトニナッタノデアリマス

○篠原委員 御説明ヲ承ッテ居リマスルトソレデ宜イヤウニ思ヘルノデアリマス、併シ實際ニ於キマシテ、絲價安定委員會ノ働

キト、安定施設組合トノ働キヲ事實ニ於テ考ヘマスルト、ヤハリ安定組合其モノガ仕事ノ中心ニナツテ、委員會ノ方ハ實際ニ於キマシテハ、動モスレバ從屬的ニナル虞ガアラウト考ヘマス、ドウモ其點ハマダ納得出来ナイノデアリマスガ、其程度ニ止メマシテ、其次ニ農林大臣ニ御伺申シタイノハ、此生絲ノ價格ノ安定ト云フコトハ極メテ大事デアリマシテ、勿論是ハ結構デアリマス、唯生絲ノ賣買ダケデ果シテ一般ノ日本ノ養蠶關係者ガ安定出来ルカ、生絲ノ賣買ノ外ニ繭ノ賣買、直接養蠶家ノ懐ニ關係ノアリマスル繭ノ賣買ヲシナケレバ、本當ニ養蠶家ノ安定ト云フ其目標ニ當ラナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、其點ハ如何デセウカ

○山崎國務大臣 篠原君ノ御意見ハ御尤ニモ拜承シマスルケレドモ、御承知ノヤウニ繭ノ賣買ヲ何等カノ方法ニ依ッテ政府ガ關與シテ行フト云フコトハ、可ナリ困難ナコトデアリマスノミナラズ、一方養蠶農家ノ利益ヲ擁護スル意味ニ於テ産繭處理統制ノ施設ガアリ、是ト一方生絲ノ暴騰暴落ヲ調節スル施設ト、此兩者ガ相俟チマスレバ、其程度ニ於テ養蠶農家ノ利益ノ擁護ガ出来ルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリ

マス

○篠原委員

産繭處理統制法ハ確ニ今農林大臣ノ言ハレマスル通りノ意味ガアラウト

思ヒマス、私ハ産繭處理統制法ト生絲安定施設法ト、モウツ繭價ノ安定施設ト云フコトヲオヤリニナルコトガ極メテ必要デナイカ、先程ノ大臣竝ニ政府委員ノ御話ニ依リマシテモ、此生絲安定施設組合ニ養蠶家ヲ入レナイ方ガ宜シイト云フ風ヲ御考ラシイ、併シ法律上ノ構成ハ御説明ノ通りデアリマスケレドモ、實際ニ於キマシテハ養蠶家ノ利益ト云フモノハ、ドウシテモ閑却サル、コトニ私ハナルト思フ、ソレカラ生絲ノ安定ノ出来マスコトガ、繭價ノ安定ニ非常ニ關係ガアリマシテ、繭價ノ安定ニナルノデアリマスルガ、生絲安定ト繭價ノ安定、必シモ一致シテ居ルモノトハ考ヘナイノデアリマス、繭ノ出来秋アタリニ於キマシテハ、繭ノ處理ニ付テノ方法ハ相當出来テ居リマシテモ、經濟關係等ニ依リマシテ、折角處理シテアリマスル繭デモ、之ヲ相當値段以下ニ賣ラナケレバナラヌヤウナ事情ハ、隨分發生スルト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ言ヒマスルト、寧ロ繭價ノ安定施設ヲ竝ビ行フトガ、極メテ必要デアルト思フノデアリマス、併シ是モ意見ノ相

違デアリマスレバ已ムヲ得マセヌガ、私ハドウモ其點ガ養蠶家ノ利益ガ兎角閑却サレ易イト云フ疑惑ヲ、ドウシテモ拂拭スルコトハ出来ナイ、次ニ矢張ソレニ關聯シテ來ルノデアリマスガ、是ハ昨日モ平野委員カラ色々御質問ニナツテ居リマスルガ、先程私ハ井野局長ニモ御伺申シタノデアリマス、養蠶家ノ生産費保障ノ問題デアリマス、政府ノ原案ニ依リマスルト、賣渡價格、買入價格ハ、競争纖維ノ價格ト繭生産費中ニ於ケル現金支出額ニ自給費ノ一定割合ノ金額ヲ加ヘタルモノ、生絲ノ製造販賣ニ要スル費用竝ニ物價其他ノ經濟事情ヲ參酌スルト、斯ウアルノデアリマス、先程政府委員ニ伺ヒマシタ所ニ依リマス、現金支出ト云フノハ現實ニ現金ヲ支出シタモノノダカラ、例ヘバ桑葉ヲ自分ノモノヲ使ッダ場合ニハ現金支出ニナラヌ、外カラ買ヒマスレバソレハ現金支出ニナル、又勞務ニ付キマシテモ、謂ハ、家ノ者ガ自分デ働イタノハ現金支出ニナラヌ、外人間ヲ傭ッテ來テ働カセレバソレハ現金支出ニナル、肥料ニ付キマシテモ同ジデアリマセウ、金肥ヲ買ッテ參リマスレバソレハ現金支出ニナル、堆費ヲ作テヤッタラバソレハ現金支出ニナラヌ、斯ウ云フ御説明ノヤウニ考ヘルノデアリマ

ス、而シテ其現金支出ト其他ノ自給費トノ割合ハ、大體ニ於テ現金支出ノ方ハ總體ノ約四割、自給費ノ方ハ六割ト云フ風ニ御考ニナツテ居ルヤウデアリマス、其四割ニ當リマスモノハ兎ニ角之ヲ全部茲ニ計算シテ、六割ニ當リマスルモノハ其中ノ一定割合ヲケテ計算ニ載セルト云フ案デアリマス、私ハ中々是ハ大キナ問題ダト思フノデアリマス、今日政府ノ方針トシマシテハ、成ベク農村經濟ヲ金錢經濟デナク、貨幣經濟デナク、自給經濟ニシタイト云フ御希望ノヤウデアリマス、過日ノ豫算總會ニ於キマシテノ大藏大臣ノ御意見ニモ、日本ノ農村ニハ貨幣經濟ガ入り過ギテ居ル、モウ少シ自給經濟デ行キタイト云フコトヲ言ハレテ居リマスルガ、今日此案ヲ見マスル時ニ、貨幣經濟ノ方ニ寧ロ重點ヲ置イテ、現金支出ノ方ハ尊重爲サツテ、自給費ノ方ハ兎角閑却サレル傾向ニアリマス、一方ニ於キマシテハ出來ル限り自給經濟デ行キタイト仰シヤルガ、自給經濟デ一生懸命ヤッテ行キマスレバ、其經費ハ「カバール」サレナイ、現金支出ナラバ政府ハ「カバール」シテ呉レル、ドウモ其邊ニ私ハ大キナ矛盾ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、ソレニ付キマシテ農林大臣ハ農村經濟ノ今後ノ立前ヲドウ云フ風ニ爲

サル御積リデアリマセウカ、併せてソレモ御伺致シマス

○山崎國務大臣 農村經濟ノ形態ニ付キマ

シテ、先般來豫算總會等ニ於テ種々御議論ガ出マシテ、此問題ハ農村ニ取テハ基本的ノ問題デアアルコトハ申スマデモナイコトデアリマスガ、明治時代以來ノ日本ノ全體ノ經濟ノ變遷ト農村事情トノ間ニ不均衡ヲ生ジマシタコトガ、一ツノ農村トシテ大キナ疲弊ノ原因ヲ成シテ居ルコト、私左様ニ認メテ居ルデアリマス、隨テ農村ニ於テ出來ルモノハ、成ベク自給ノ方法ニ依テ行クコトガ望マシイコトデアアル譯デアリマシテ、現ニ只今御話ニナリマシタ肥料ノ問題ノ如キモ、私ハ特ニ此自給肥料ノ増産獎勵ト云フコトニ力ヲ用ヒテ居ル積リデアリマス、併ナガラ何分ニモ既ニ發達シマシタ今日ノ經濟組織ニ於テ、到底之ヲ昔ノ經濟機構ニ還元スルト云フ途ハ、是ハ立チ得ナイコトデアリマスノデ、此情勢ハ、之ヲ前提トシテ諸般ノ政策ヲ考ヘテ行クノ外ハナイ譯デアリマスガ、併ナガラ先刻申上ゲマシタヤウニ、自給デ済ム限リニ於テハ、出來得ル限リ自給ノ方法ニ依ルト云フコトハ、是ハ無論望マシイコトデアアル譯デアリマス、隨テ今ノ買入價格ノ決定基準トシテ、

繭ノ生産費ヲ保障シナケレバナラヌノデヤナイカト云フ御議論ハ、是ハ其立場カラノ御議論トシテハ、確ニ一理アル御議論ニ相違ナイノデアリマスガ、昨日井野局長ヨリ申上ゲマシタヤウニ、此制度全體ノ立前ガ殊ニ生絲ガ國際商品デアルト云フ特異性ヲ持テ居ル關係上、米ノ調節ト同ジヤウナ方法ヲ執ルコトガ困難デアルト云フ事情ガアリマス爲ニ、先般來御説明ヲ申上ゲタヤウニ、最低價格ノ決定ニ當テハ生産費全部ヲ取ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ事情ニナッテ居ルト思フノデアリマス、然ラバ其金錢支出ト自給費ト云フモノヲドウ見ルカト云フコトニナリマス云フト、農村經濟ノ立前ニ於テ、自給ノ増加スルコトハ望ムベキコトデアリマスガ、已ムヲ得ザル金錢支出ハ是ハ切メテ償フテヤラナケレバナラヌト云フ考ヘ方ヲ持ツコトモ、是モ亦無理カラヌコトデアアルノデアリマシテ、サウ云フ事情カラ此價格ノ決定ニ付テハ局長申上ゲマシタヤウナ方法ヲ採ツタコトデアルト存ズルノデアリマス、併シ篠原君ノ御氣持ハ私ハ能ク分ルノデアリマシテ、一方カラ見レバ道理アル御主張トハ思ヒマスケレドモ、又此制度全體カラ考ヘマスト云フト、忍ビ難イ點ヲ忍ンデ戴クコトハ已ムヲ得ヌノデ

ヤナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○篠原委員 忍ビ得ルコトヲ忍ベト云フコトハ洵ニ御尤ナコトデアリマス、唯先刻モ政府委員カラ御話ノアリマシタ如ク、金錢支出ノ方ハ四割、其他ノ自給費ハ六割ニモ當ラウト言ハレル、寧ロ地方農村ニ於キマシテノ生活ノ本體ハ自給經濟デアアル、又サウアラネバナラヌ、其生活ノ本體ノ方ニ付キマシテハ兎角之ヲ閑却シテ、寧ロ全體ノ五〇%ニモ行カナイ、四〇%程度ノ金錢支出ノ方ダケハ保障スル、人ノ事ダカラサウ云フコトガ言ヘルト思フ、能ク考ヘテ見テ、私ハ自分ノ經濟ヲ以テ見マスルニ、經濟ノ本體ヲ成シテ居リマスル部分ヲ保護シテ費ヘバ宜シイ、經濟ノ本體ヲ成シテ居ル部分ヲ放ツテ置イテ、寧ロ從タル立場ニアリト考ヘラレ、又從タル立場ニ置カナケレバ日本ノ農村ハ現實ニ維持出來ナイ、其方ニ力ガ入りマスコトハ實ニ殘念デス、ドウモ私ハ此法文自體ヲ見マシテモ、既ニ製絲業者ト養蠶家トニ對スル扱ガ非常ニ差別ガアルト思フ、法文自體ヲ見マシテモ、其次ニアリマスル生絲ノ製造販賣ニ要スル費用、成程金錢デアリマセウ、生絲ノ製造販賣ニ要スル費用ハ金錢デアリマセウ、金錢デアアル

カラ全部ハ考慮ノ中ニ入レル、農村ノ一般ノ養蠶家ノ生活ノ方ニハ金錢支出デナイ部分ガ六割デアアル、寧ロ皮肉ニ申シマスレバ養蠶家ノ經濟ノ中六割ガ金錢支出デナカッタノガ勿怪ノ幸ダト云フヤウナコトガ法文ニ讀メル、金錢支出ガ全部デアリマシタラドウナサイマス、ドウモ製絲業者、問屋業者ヤ輸出業者ノ方ノ製造販賣ニ關スル費用ハ全部御考慮ナサツテ、養蠶家ノ費用ダケハ現金支出ダケヲ考慮シテ、自給費ノ一定割合ハト仰シヤイマス、自給費ハ五割以上六割ニナッテ居ル、其一定割合ダケヲ保障スルト云フコトハ、此法案自體ガ問屋業者ヤ製絲業者、輸出業者ヲ大事ニシテ養蠶家ノ方ハ構ハヌデ……構ハヌデヤナイ、無理ニ抑ヘ付ケテ居ルヤウニ見エルノハ是ハ如何デアリマセウカ

○井野政府委員 養蠶家ノ生産費ノ中ノ金錢支出ダケヲ保護シテ自給費ノ方ヲ顧ミナイノデヤナイカト云フ御話ノヤウデゴザイマスガ、金錢支出ハ養蠶家ト致シマシテハ現實ニ出シタ金デゴザイマスカラ、各府縣ニ參リマシテ私共ガ此視察ヲ致シマス時モ、セメテ自分ガ出シタ金ダケハ保障シテ貫ヘレバ非常ニ自分ハ安心ダト云フコトヲ相當各方面デ言ッテ居リマシタノデ、金錢支

出ハ是非一ツ保護シテヤリタイ、併シ無論  
自給費ト云フモノハ養蠶經營ノ相當ノ部分  
ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、其或ル部  
分モ無論保障シテヤラヌト云フト養蠶經營  
ト云フモノ、眞ノ安定ガ期シ難イト云フノ  
デ、ソレニ一定ノ割合ヲ加ヘタノデアリマ  
ス、隨テドノ程度ニ致セバ養蠶農家トシテ  
十分ニ保障サレカト云フト、此一定割合  
ノ加ヘ方如何ニアル、篠原委員ノ御話ノ立  
前ハ金錢支出ヲ保障シテ自給費ヲ輕ク視テ  
ハイカヌト云フ、非常ニ私共ハ御尤ノ御議  
論ト思フノデアリマス、併シ其行キ方假  
ニ逆ニ致シマシテモ、結果ニ於テハ同ジコ  
トニナルノデ、一定割合ヲ加ヘマシタモノ  
ハ必ズ自給費以上ニナルト思ヒマスカラ、  
立前ガドウト云フコトハ其當時吾々各養  
蠶農家ノ色々ノ意見ヲ聽キマシタ時ニ、現  
金支出ハ是非一ツ、出シタ金ダケハ保障シ  
テ貰フヤウニシタイ、斯ウ云フコトカラ實  
ハ斯ウ云フ考ガ出來テ來タノデ、必ズ農村  
經濟ノ指導精神カラ自給ヲ輕クシテ金錢ヲ  
重クセシムルト云フコトヲ深ク考ヘタ譯デ  
ハ實ハナイノデアリマス、併シサウ云フ結  
果ニナリマシタ場合ニ、然ラバ製絲家ノ方  
ハ全部金錢支出ヲ保障スルデヤナイカト云  
フ御議論ノヤウデゴザイマシタガ、是ハ絲

價ノ構成ヲ御覽ニナリマスルト——御研究  
下サイマスト直グ分ルコトデ、假ニ此場合  
ニ於キマシテ、生産費ハ全部加ヘマシテ、  
サウシテ製絲加工費ノ方デ假ニ減ラシタト  
致シマシテモ、結局絲ノ値段トシテ現ハレ  
マス時ニ、ソレヲ保障シマスレバ、負擔ス  
ル者ハ、ヤハリ養蠶家ガ減ル部分ヲ負擔シ  
ナケレバナラヌコトハ、是ハ篠原委員能ク  
御分リダラウト思ヒマス、デアリマスカラ  
此構成自體ハ決シテ製絲家ヲ保護スル意味  
デ養蠶家ヲ輕クスルト云フ意味デヤゴザイ  
マセヌノデ、元々繭ノ買上デハナク、絲ノ  
買上デゴザイマスカラ、隨テ絲ノ値段ノ買  
入價格ヲ構成致シマス以上ハ、斯ウ云フ立  
テ方ヲ構成致シマセヌト、吾々ノ考ヘテ居  
ルヤウナ目的ヲ達シナイト云フ點ハ、是ハ  
能ク篠原委員御分リダラウト思ヒマス、デ  
アリマスカラ決シテ養蠶家ヲ輕クシテ製絲  
家ノ現金支出ダケヲ保護スルト云フ精神デ  
ナイコトダケハ、能ク御諒承ヲ願ヘルト思  
ヒマス

○篠原委員 ドウモ私ハ此法文ノ構成カラ  
考ヘマシテモ、先刻農林大臣、政府委員ノ  
御説明カラ考ヘマシテモ、絲價安定組合ニ  
ハ養蠶家ヲ入レテ居ラス、ソレカラ法文ヲ  
讀ンデ見マシテモ養蠶家ノ方ニ付テハ繭生  
産費、是モ利潤ハ入ッテ居ルノデヤナイ、實  
際ニ繭ヲ作ル爲ニ必要ナ費用、農村經濟ノ  
特殊ノ事情カラ、其中ニ金錢ヲ以テ支辨  
シナイモノモアルニ過ギナイ、而モ今日ソ  
レハ極メテ必要ナ經濟トシテ、成ベク之ヲ  
吾々ハ尊重維持シタイト思ッテ居ル、サウ云  
フ風ナ特別ナ事情ノアリマスル費用、ソレ  
ハ生産原價デアリマセウ、生産費ト云フノ  
ダカラ……此養蠶家ノ生産費ニ付テハ一定  
割合マデシカ考慮シナイ、生絲ノ製造販賣  
ニ要スル費用ノ方ハ全部考慮シテ居ルト云  
フコトハ、ドウ考ヘテモ養蠶家ガ製絲家ニ  
對シテ從屬壓伏サレタ形ダト感ゼザルヲ得  
ナイノデアリマス、是ガ私ガ先刻農林大臣  
ニ繭ノ販賣ヲ爲サル意思ハナイカト云フコ  
トヲ聽キマシタ一ツノ所以デモアリマス、  
製絲家中心ノ此蠶絲對策ガ研究サレ、構成  
サレ、段々此組織ガ立派ニナルニ從ヒマシ  
テ、養蠶家ノ立場ト云フモノハ實ニ憐レナ  
ル状態ニ落チテ來ルト思ヒマス、私ハ之ニ  
付キマシテ——昨日デアリマシタカ、政府  
委員ノ御話デアリマシタカ、或ハ農林大臣  
ノ仰セダト思ヒマスガ、生産費ノ原價ヲ保  
障スルト増産ニナル虞ガアルト云フ御話デ  
アリマスガ、是ハ實ニ情ケナイ議論ト思フ  
ノデアリマス、利益ヲ與ヘルナラバ増産ニ

ナルト云フコトハ宜シイデアリマセウケレ  
ドモ、生産ニ使ヒマシタ費用ヲ與ヘルト増  
産ニナル、ソナニ農村ハ窮乏シテ居ル、  
先程局長ノ御話ガアリマシタヤウニ、地方  
ニ參リマス、セメテ出シタ現金ダケデモ  
保障シテ貰ヒタイト農村ハ言ッテ居ル、ソレ  
ヲ御聽キニナッテ御考ヘ下サル御精神ハ能  
ク分リマスケレドモ、是デハ農村ノ經濟ハ  
立タナイ、ソレハ農民ハ分ラナイ、自分ノ  
出シタ金ダケガ戻ッテ來レバ宜イト思ッテ居  
ル、サウシテ自分ノ出シタ金ダケガ戻ッテ  
來ルヤウナサウ云フ經濟ヲ年々ヤッテ居  
テ、農村ガ立行キマセウカ、私ハ立行ク筈  
ハナイト思フ、農民トシテハセメテ現金ダ  
ケハ欲シイト思フノデアリマスガ、ソレハ  
根本精神ノ維持デヤナイ、目先ノ維持ダケ  
デアル、農民經濟ヲ維持シヨウト云フナラ  
バ、其農民ノ言葉ダケヲ聽イテソレヲ與ヘ  
レバ宜イト云フコトヲ御考ニナルノハ見當  
ガ違フ、而モ利潤モ與ヘナイ、生産費ダケ  
與ヘレバ増産ニナルト云フ御考、若クハ金  
錢支出ダケハセメテ保障シテ呉レト云フ聲  
ガアルカラソレヲ保障シテヤルト云フ考ソ  
レ自體ガ農民經濟ヲ親切ニ御考ニナラヌ意  
見ダラウト思ヒマス、ドウデスカ

○井野政府委員 私ハ先程申上ゲマシタ

ガ、切メテ金錢支出ダケデモ保障シテ貰ヒ  
 タイト云フ聲ノアリマスコトハ篠原委員モ  
 御認メドラウト思フノデアリマスガ、無論  
 農林當局ノ農村ニ對シマスル政策ハ、此施  
 設ダケデ總テガ養蠶農民ノ保護ニナルト云  
 フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマセヌ、養蠶農家  
 トシテ非常時ノ場合ニ一ツノ安全瓣ガアレ  
 バ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘルト云フ所カラ  
 此施設ガ出來テ居ルノデアリマス、之ヲ以  
 テ養蠶農民ガ十分ノ利潤モ出マシテ、サウシ  
 テ裕カニ暮シ得ルト云フ風ナ自信ハ私ハ無  
 論持ッテ居リマセヌ、隨テ此法案自體デ總テ  
 蠶絲對策ノ全部ガ要ラナクナルト云フコト  
 デナイコトハ、先程モ大臣ガ御話ニナツタ通  
 リデアリマス、殊ニ色々ノ農村對策ノ施設  
 ヲ講ジマシテ、サウシテ農村ノ更生ヲ圖ッテ  
 行ク、特別助成ノ如キモ其一ツデ色々ノ施  
 設ヲ加ヘテ農村ヲ段々ト裕カニシテ行クコ  
 トハ、是ハ大事ナコトデアリマスケレドモ、  
 此施設ハ非常時ニ於キマシテ、一ツノ養蠶  
 農民ニ對シテノ安全瓣トシテ非常ニ役立つ  
 モノデアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ  
 アリマス、然ラバ此施設デ生産費ガ全部償  
 ヒ得ルヤウナ制度ニシタラ宜イデヤナイカ  
 ト云フ御議論モアラウト思ヒマスケレド  
 モ、サウデアリマスレバ私共ガ昨日カラ申

上ゲテ居リマシヤウニ茲ニ生絲ニハ人絹ト  
 云フ強敵モアリ、又生絲ハ人絹ト同様ニ國  
 際商品デ、米ナドト違フタ事情モアリマスノ  
 デ、今日生産費ヲ償ヒマシヤウナ生絲ノ値段  
 ヲ維持スルト云フコトニナルニハ、六百圓  
 以上ノ生絲ノ値段ヲ維持シナケレバナラヌコ  
 トニナルノデアリマス、サウデアリマスル  
 ト茲ニ假ニ國幣ヲ費シマシテ六百圓以上ヲ  
 維持シタトシマシテモ、亞米利加ノ消費ガ  
 殖エル状態ナラ宜イガ、今日海外ノ消費狀  
 態ガ餘リ好轉シテ居リマセヌ時ニ、六百圓  
 ノ値ガ維持サレテ居ルト云フコトニナレ  
 バ、増産ガ誘發サレ、サウシテ競争品ニア  
 ル纖維ニ對シテノ努力ガ鈍クナツテ來ルノ  
 デアリマシテ、結局蠶絲業全體ニ有利ナ結  
 果ヲ齎サヌ、サウ云フ所カラ此施設ノ建前  
 ヲ致シタノデアリマス、其邊ノ事情ハ一ツ  
 御諒承願ヒマシテ、サウシテ吾々ガ考ヘテ  
 居リマス所モ決シテ養蠶農民ニ冷淡デア  
 テ、製絲家ニ非常ニ厚イト云フ氣持ヲ持ッテ  
 居ラナイコトダケハ御諒承願ヒタイト思フ  
 ノデアリマス

ガ入ッテ居リマス、一方ニ於テ競争纖維ノ價  
 格ト云フモノヲ考ヘテ居ル、其外生産ニ關  
 スル費用ノ外ニ、物價其他ノ經濟事情ヲ斟  
 酌スルト云フコトモ要素ノ中ニ入ッテ居ル、  
 サウ云フ色々ノ要素ヲ考ヘテ物ヲ決メルト  
 云フ時ニ、生産費ニ付テハ初カラ遠慮スル  
 ト云フ筋ハ何處ニアル、繭ノ生産費ナリ、  
 生絲ノ製造販賣ニ要スル費用モ要素ノ中ニ  
 當然入レテ宜イデヤアリマセヌカ、而モ其  
 生産費若クハ繭ノ製造ナリ生絲ノ製造販賣  
 ニ關スル費用全部ヲ通算スルト、物價其他  
 ノ經濟事情カラ考ヘテ、亞米利加ニ品物ハ  
 賣レナイ、或ハ人絹トノ對抗上下ウモ賣レ  
 ナイト云フナラバ、競争纖維ノ價格トカ物  
 價其他ノ經濟事情カラ參酌サレテ、或ル場  
 合ニハ生産費ガ割レルコトモ已ムヲ得ナイ  
 デセウ、其場合ニ於テハ單リ養蠶家ノ生産  
 費バカリデヤナイト私ハ思フ、私ハ製絲業  
 者ヤ問屋業者モ輸出業者トシテ輸出販賣ニ  
 對シテ要スル費用ノ一部ヲ損スルノハ當リ  
 前デアルト思フ、皆ガ御互持合ッテ損シナ  
 ケレバナリマセヌ、其色々ノ事情ヲ御考ニ  
 ナル政府ノ方針デアルニ拘ラズ其一要素デ  
 アル繭生産費、殊ニ自給費ノ一定割合ヲ除  
 イテ置クト云フコトハ不親切デヤアリマセ  
 ヌカ

○井野政府委員 第十一條ノ精神ハ先程來  
 私ガ申上ゲテ居リマシヤウニ、養蠶農民ト  
 シテ生産費ノ全部ガ「カバー」サレルト云フ  
 コトニ於テ、色々ノ生絲事情カラ見テノ米  
 ナドト違フ性質ヲ持ッテ居ル、隨テ此法ノ精  
 神トシテモ生産費「カバー」スルモノデナ  
 イ、若シ之ヲ假ニ生産費ト書イテ居リマシ  
 テ、サウシテ其他ノ事情ヲ斟酌スルト云フ  
 コトニナリマス、此法文ヲ讀ンダ人ハ生  
 産費ト云フモノハ完全ニ保障セラレルモノ  
 デアルト云フ所ノ却ッテ誤解ヲ私ハ生ズル  
 ト思フノデアリマス、サウシテ決メタ値段  
 ハ生産費ニ喰入ルト云フヤウナコトニナリ  
 マシテハ、却ッテ私共ハ養蠶農民ニ對シテ  
 非常ニ大キナ施設ヲ作ッタヤウニ見セテ置  
 イテ、サウシテ實行ノ上ニ其目的ヲ達シナ  
 イト云フコトニナルト思フノデアリマス、  
 現ニ米穀統制法ノ方ハ生産費ト云フ字ヲ  
 使ッテ居リマス、隨テ其價格決定ニ當ッテ  
 モ、農林省デ調査致シマシタ生産費以上ニ  
 大體今日デハ決ッテ居リマス、其觀念カラ  
 見レバ、此十一條ニ生産費ト云フ字ヲ使ッ  
 テ此言葉ニ換ヘマスレバ、養蠶家トシテ  
 ハ、今日絲價ノ生産費、即チ今後農林省ガ  
 調べマス生産費ト云フモノハ、必ズ保障サ  
 レル、斯ウ云フ風ナコトハ寧ロ誤解ヲ生ズ

ルト思フノデアリマス、デアリマスカラ、  
本案ヲ作りマス時ニハ、若モサウ云フ要望  
デ、斯ウ云フモノヲ作りマスレバ、絲價安  
定施設ト云フモノハ出来ナイ、是ハ自分  
シテハサウ云フヤウナ要望デ此制度ヲ作  
ト言ッテモ出来ナイト云フコトヲ申シテ居  
タノデアリマス、隨テ財務當局ニ對シマシ  
テモ、其生産費ヲ保障スルト云フ觀念デ行  
クト非常ナ詰リ國帑ヲ要スルト云フコトニ  
ナルノデアリマスカラ、自分トシテハ此程  
度ノ施設ヲ以テ今日ノ絲價安定施設トシテ  
ハ満足シナケレバナラヌト信ズル、デア  
カラ生産費「カバー」ノ字句ヲ特ニ十一條ニ  
入レテ然ラザル所以ヲ明ニ致シマシテ、サ  
ウシテ吾々ノ主張ノアル所ヲ能ク世間ニ知  
ラシムルト云フ方ガ親切デアルト考ヘマシ  
テ、此字句ヲ使ッタノデアリマス

○篠原委員 法文ガ農民ニ讀ミ誤ラレテハ  
困ルト云フ御親切デアリマス、然ラバ此法  
文ヲ讀ミマス、養蠶家ハ製絲業者、問屋  
業者、輸出業者ニ較ベテ遙ニ劣ッタ地位ニ  
置カレテ居ルト讀ム外アリマセヌ、ソレハ  
農民ハサウ解釋シテモ構ヒマセヌカ

○井野政府委員 本案ガ施行サレマスレ  
バ、私共ハ能ク此法ノ精神ヲ地方ニ徹底セ  
シムル積リデアリマス、決シテ此十一條ニ

依ッテ吾々ハ養蠶農民ヲ輕ンジテ、製絲家、

輸出業者ヲ重ンズルト云フ趣旨デハナイト  
云フコトハ十分話ス積リデアリマスガ、現  
ニ此案ヲ立テマス際ニ日本蠶絲中央會ニ諮  
問致シマシテ、サウシテ各關係業者ノ集ッ  
テ居リマス時ニ、無論養蠶家ノ代表者モ相  
當ニ出テ居リマス時ニ、其話ヲシマシテ、  
無論サウダ、今日デハ吾々ノ方デモ生産費  
ト云フモノヲ全部保障シテ貰ハウト云フコ  
トヲ考ヘタノデハ、養蠶家自體ノ經濟ガ却ッ  
テ壞ハレルト云フコトヲ強ク皆言ッテ居ラ  
レルノデアリマス、デアリマスカラ、今日  
ノ養蠶家ノ所謂代表者ト思ハレル人々ニハ  
能ク十一條ノ精神ヲ吞込ンデ戴イテ居ルノ  
デアリマス、隨テ各府縣ニ對シマシテモ、  
ソレ等ノ人々ハ今度ノ絲價安定施設ト云フ  
モノハ斯ウ云フ制度ノモノデアルト云フコ  
トヲ話シマシテ、サウシテ養蠶農民ノ方ヘ  
モ——無論二百萬戸ノ全部ニ徹底スルト私  
ハ思ヒマセヌガ、相當部分ニ能ク判ッテ、  
ソレデモ宜イカラ 此絲價安定施設ヲ作ッテ  
吳レト云フ要望ガ來テ居ルノデアリマス、  
其點ハ今後法ノ運用ニ當リマシテ吾々モ能  
ク説明致シマスレバ、政府ノ氣持ナリ、又  
此法文ノ精神ナリガ、十分ニ徹底シ得ルモ  
ノト信ジテ居ルノデアリマス

○篠原委員 此法文自體カラ考ヘマシテ

モ、製絲業者ヤ、輸出業者ヤ、問屋業者ノ  
損失ハ當然養蠶家ニ轉嫁サレルト云フ形ニ  
ナッテ居ルト見ザルヲ得ナイノデアリマス、  
生絲ノ製造販賣ニ要スル費用ト云フモノハ  
兎ニ角コ、デ全部考慮ノ中ニ入レラレテ居  
リマス、絲價ガ幾ラニナル、絲價ガ著シク  
低落シタ場合ニ、其低落ニ依ル損失ヲ背負  
ヒ込ムモノハ養蠶家獨リデアッテハナラヌ  
ト私ハ思フ、製絲業者モ、問屋業者モ、輸  
出業者モ全部背負ヒ込ムベキ責任ガアルト  
思フ、法文ノ立前カラ考ヘマスト、製造販  
賣ニ要スル費用ハ全部考慮ヲシテ、繭ノ生  
産費ハ考慮シナイト云フ立前自體カラ考ヘ  
テ見テ、其損失ハ養蠶家ニ轉嫁サレルト云  
フコトハ、法文自體ガ私ハ示シテ居ルト思  
フ、尙ホ生産費ヲ保障シテヤルコトニシマ  
スト、養蠶家ノ經濟ガ壞ハレル、ソレハド  
ウ云フ意味デアリマスカ、増産ヲ刺戟スル  
ト云フ意味デアリマセウガ、計畫ノナイ増  
産ト云フコトガ日本ノ製絲業ニ取リマシテ  
大キナ危険ヲ孕ミマスコトハ固ヨリデアリ  
マス、サウ云フコトニ付キマシテハ私ハ政  
府ハ別途ニ御考ニナルベキデアルト思ヒマ  
ス、原蠶種ノ國家管理ヲ御ヤリニナッテ居  
ル、更ニ進ンデ普通蠶種ノ國家管理ヲ御ヤ

リニナッタナラバ如何デスカ、其方面カラ

養蠶家ノ行動ヲ無制限ニシナイデ、相當ノ  
統制ヲ與ヘ、著シイ絲價ノ暴落ヲ來スヤウ  
ナ危険ニ踏込マセナイヤウニ用意スルコト  
ハ必要デアリマセウ、併シ私共ハ生絲、繭  
ガ大事ダト申シテ居リマスケレドモ、何モ  
繭、生絲ヲ作ルコトガ私共ノ目的デハナイ  
ノデアリマス、農村ノ經濟ヲ維持シタイカ  
ラ繭ヲ作り、絲ヲ作ル、ドウモ此政府ノ考  
ヘ方ガ、絲、繭其モノ、方ニ中心ヲ置イ  
テ、農家ノ經濟ト云フコトニ重點ガナイヤ  
ウニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、生産  
費ヲ保障スレバ、繭ハ増産ノ虞レガアル、  
生産費以下ニ常ニ保障ヲセズニ危険ニ曝シ  
テ置ク、ソレヂヤト云フノデ、養蠶家ガ一  
生懸命繭ノ生産費ヲ引下ゲマスガ、此法文  
ヲ作ッテ置キマシテハ何時ニナッタナラバ養  
蠶家ハ安心出來ル、何時デモ生産費以下ニ  
下レ——ト云フコトヲ國家ハ養蠶家ニ要求  
シテ居ル、ドウモソレハ養蠶家ニ對スル態  
度ヂヤナイト思フ、私ハ君等ノ働ク生産費  
ダケハ保障シテヤルト云フコトガ國家ノ方  
針デナケレバナラヌト思フ、損ヲスルヤウ  
ニ仕向ケテ置キマシテ——彼等ガ澤山繭ヲ  
作り過ギルカラ怪シカラヌカラ損ヲスルヤ  
ウニ仕向ケルト云フコトハ、ソレハ實ニ不



親切極マルコトデアルト思フ、ドウモ養蠶家カラ考ヘマス、今ノ法文ノ上カラ考ヘマス、自給費ノ一定割合シカ考ヘテ呉レナイ、ソレデハト云フノデ、一生懸命繭ノ生産費ヲ下ゲマシテモ、法文ガサウ云フコトヲ要求シテ居ル、養蠶家ガ努力スレバスル程モツト下レ、ト云フコトヲ要求シテ居ル、私ハ是ハ農林大臣ニ御同致シタイ、蠶絲局長ノ御苦心ハ御尤モデアリマスガ、併シ農林行政トシマシテ、地方農民ノ態度ガ——農民ノ作りマス品物ハ、生産費ヲ満足ナクテモ構ハナイ、生産費ダケ與ヘレバ、オ前等ハドン、作り過ギルカラ困ルト云フノハ不親切ナル態度デアルト思ヒマスガ、如何デセウカ

○山崎國務大臣 篠原君ノ養蠶農民ニ對スル熱心ナル御考ヘ方ニ對シマシテハ能ク諒解ヲ致スノデアリマスガ、例ヘバ米ノ法律ノ沿革ヲ御考下サイマシテモ分リマシヤウニ、米ト生絲ハ先刻カラ申上ゲマシヤウニ、全く違ツタ事情ニアリマス、米ノ調節ノ場合デモ、制度ヲ初メテ設ケマシテカラ十年餘リノ間ト云フモノハ、米ノ生産費ヲ保障スルト云フ立前ニハナリ得ナカタモノデアリマス、異常ナル暴騰暴落ヲ或ル程度調節スルト云フ程度ノコトデアリマシテ、

生産費ト云フモノヲ入レマシタノハ、僅カニ二三年前ノ米穀統制法ニ依ッテ初メテ生産費ト云フコトガ入ッタ位ノコトデアアルノデアリマシテ、今回ノ此制度モ是ガ絲價ヲ釘付ニシヨウト云フ意味デアリマセヌデ、今迄ハ政府ガ別段價格ノ調節ニハ乗出シテ居ナカタ譯デアリマスケレドモ、ソレデハドウモ餘リニ酷イ、非常ナル暴騰ヲ其儘ニシテ置クト云フト、纏テ大逆轉ヲスルゾ、又一昨年來ノヤウナ非常ナ暴落ニ際スルト云フト、養蠶農家ハ殆ド生活ノ根柢ヲ破壊サレルヤウナ危険ニ曝サレル譯デアリマシテ、此極端ナル場合ハセメテ政府ガ相當ノ犠牲ヲ拂ッテ調節ヲスルコトガ、是ガ蠶絲業ノ安定ノ爲ニ必要デアラウ、斯ウ云フ意味デ此制度ハ考ヘラレテ居ル譯デアリマシテ、況ヤ先程カラ局長モ懇々申上ゲマシヤウニ、何分ニモ生絲ガ國際商品デアルト云フコト、又非常ナル競争相手ヲ持ッテ居ルト云フ點、此二ツノ特異ナ性質ヲ持ッテ居リマス點カラ鑑ミマシテ、現在米デ行ッテ居リマスヤウナ最低價格ヲ政府ノ負擔ニ於テ保障スルト云フ建前ヲ執ルコトハ、是ハ事實問題トシテ中々出來惡イコトデアリマスノデ、篠原君ノ御精神ハ能ク分リマス、能ク分リマスガ、此際政府ガ五萬俵ノ

滯貨生絲ヲ投ゲ出シテ、更ニ又七千萬圓ノ資金融通ノ途ヲ講ジマシテ、之ニ依ッテ極端ナル暴騰暴落ダケハ一ツ抑制スル、サウシテ絲價ノ安定ヲ、其幅ニ於テノ安定ヲ圖リタイト云フ、此吾々政府側ノ精神モ御諒解ヲ願ヒマスレバ、ソコニ程好イ所ニ落著クノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘル譯デアリマス

○篠原委員 政府ノ御考ニナッテ居ル御氣持ハ分ラヌ譯デアリナイノデアリマス、唯絲價安定施設ヲ爲サルト云フ政府ノ御考カラシマスレバ、固ヨリ生絲ハ國際商品デアリマスカラ、決シテ生産費ハ常ニ保障サレルト云フ性質ノモノデナイコトハ、ソレハ私モ分リマス、分リマスガ、此價格ヲ決メマシテニ於キマシテノ要素トシマシテハ、一方ニ於テソレハ國際商品タル事情モアリマセウ、競争纖維デアアル人絹ノ價格ノ問題モアリマセウ、併シ養蠶家ノ方ノ立場ヲ考ヘタ繭ノ生産費ト云フコトダッテ、是ハ當然私ハ保障スルト云フ建前デナクテハナルマイト思フ、繭ノ生産費ヲ唯一本ニ保障シ得ナイト云フ事情ハ能ク分リマス、場合ニ依リマスレバ、ソレハ生産費ヲ割ル値段モ出マセウ、ソレハ色々ナ關係デ已ムヲ得ナイ、其時ニハ製絲業者モ問屋業者モ輸出入

者モ皆共同デ、皆デ其苦痛ヲ背負フ外ナイ、併シ絲價安定ヲ爲サルト云フ建前カラ申シマスレバ、ヤハリ養蠶家ノ方ノ繭ノ生産費ダケハ考ヘテ、何トカシテ之ヲ——利益デヤナイノデス、生産費ダケハ考ヘテヤルト云フ建前デナケレバ、ドウモ私ハ政府ノ仰シヤルコト、茲ニ御出シニナリマシタ法案トハ喰違ヒガ起ッテ居ルノデハナイカ、ドウモ、國際商品タル、若クハ競争纖維ガアリマス生絲トシテ、其損失ガ起リマシタ時ニハ兎ニ角農民ニ背負ッテ貰ヒタイ、兎ニ角養蠶家ニ一ツ我慢シテ貰ヒタイト云フ風ニシカ此法文ハ私ニハ讀メナイノデアリマス、併シ是ハ議論ニナリマスカラ、此程度ニ止メマシテ更ニ先ノ方ノ質問ヲ致シマス

先程政府委員ノ御説明ニアリマシタ人絹ト生絲トノ價格ノ關係デアリマスルガ、大體三四倍ニ生絲ガナリマスルト、ソレヲ最高ト御覽ニナルト言ヒマシタガ、サウデアリマスカ

○井野政府委員 賣渡價格ノ方ハ競争纖維ト物價其他ノ經濟事情トヲ斟酌シテ決メルノデアリマスガ、其具體的値段ハ絲價安定委員會ニ諮問致シマシテ決メルノデゴザイマスカラ、此處デハ申上ゲ兼ネルノデゴザ



イマスルケレドモ、目標ハ先程申上ゲマシ  
タヤウニ、今日生絲ノ値段ガ人絹ノ三倍乃  
至四倍ニナッテ參リマスルト、人造絹絲ノ進  
出ガ非常ニ多クナッテ來ル實勢カラ見マシ  
テ、サウ云フコトヲ阻止シタイト云フコト  
ガ一ツノ高値抑制ノ目的デアリマスカラ、  
サウ云フ所ヲ大體目標ニシテ行キタイト云  
フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

**○篠原委員** ソレカラ是ハ本會議デ農林大  
臣ガ小山君ノ質問ニ對シテ御答ニナッタク  
思ヒマスルガ、買入價格、賣出價格ノ決定  
ハ毎年一月ニ爲サルト云フコトデアリマス  
ガ、サウデアリマスカ

**○井野政府委員** 原則トシテ一月ニ決メタ  
イ、併シ其時ノ色々ノ事情デ決メラレマセ  
ヌ場合モゴザイマスカラ、絲價安定委員會  
ニ諮問致シマシテ、其時期ニ付テハ又別段  
ノ定メヲ爲シ得ルヤウニ規定ヲ設ケタイト  
考ヘテ居リマス

**○篠原委員** 運用資金關係デ御伺ヒシマ  
ス、現在ノ政府ノ特別會計ノ案ニ依リマス  
ルト、政府所有ノ生絲五萬俵ト此七千萬圓  
ニ依ッテ此絲價安定ノ運用ヲ爲サルト云フ  
コトデアリマスルガ、一體此七千萬圓ト云  
フノハ何ヲ根據ニシテ御作リエナッタ金額  
デアリマスカ

**○井野政府委員** 買入限度ヲ七千萬圓ト致  
シマシタノハ、大體過去ノ經驗カラ見マシ  
テ非常ニ安値ノ場合ニ十萬俵ノ生絲ヲ買入  
レマスレバ、相當ニ調節ノ效果ガアル、斯  
ウ考ヘマシテ十萬俵ノ生絲ヲ買ヒマス資金  
ト、ソレカラ今マデノ蠶絲對策ヲ色々致シ  
マシタ財源ヲ此所有生絲ノ賣拂代金デ支辨  
シテ居リマシタノデ、ソレヲ特別會計カラ  
一般會計ニ此處數年ハ納メナケレバナリマ  
セヌ、ソレ等ノ限度ヲ見合セマシテ七千萬  
圓ト致シタノデアリマス

**○篠原委員** ドウモ七千萬圓位デハ此運用  
ガ出來ナイノデヤナイカト云フ私ハ心配ガ  
アルノデアリマス、是ハ米ノ方ト一概ニ同  
ジダトハ申スコトハ出來マセヌガ、又一面  
ニ於キマシテハ、生絲ハ米ト違ヒマシテ、  
其殆ト全部ハ商品ニナッテ賣ラレルト云フ  
立場ニアリマスルカラ、ソレ等ノ點ヲ考ヘ  
テ見マスルト、今日米ニ於キマシテ、政府ハ  
八億五千萬ノ金ヲ用意シテ居ラレル、更ニ  
進ンデ三億圓マデモ出シ得ルト云フヤウナ  
附則スラモアルヤウナ状態デアリマス、此  
米ノ方カラ考ヘマスルト、ドウモ生絲ノ方モ  
七千萬圓ノ金額デハ一寸ソレハ困難デヤナ  
イカ、私ハ米トノ比較ヲ假ニ考ヘテ見マシ  
タ、米ヲ先ヅ平均六千萬石ト見マシテ、一

石二十五圓トシマスレバ、十五億圓ニナリ  
マスルガ、十五億圓ノ米ニ對シテ八億五  
千萬ノ金ヲ政府ハ用意シテ安定ヲ圖ッテ  
居ルト云フ風ニ考ヘマスルト、絲ハ勿論  
非常ニ幅ガアリマスルガ、マア平均一年  
一千萬貫ト見テ價格五億圓位ト考ヘマスル  
ト、大體米ノ三分ノ一位ナ價格ニナルト考  
ヘマス、ソレカラ割出シテ行クト、ドウモ  
二億七八千萬圓カラノ數字ガ出テ來テ、結  
局三億圓位ナ金ガナイト繭ノ運用ガ十分デ  
ナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデア  
リマスガ、如何デゴザイマセウカ

**○井野政府委員** 現在ノ蠶絲事情カラ見マ  
シテ、一億七千萬圓ノ資金ガアリマスレバ、  
當分大丈夫デアアル、斯ウ云フ風ニ見テ居リ  
マス、今御話ノ米ガ八億數千萬圓借入限度  
ヲ持ッテ居ルト申サレマシタガ、是ハ十數年  
間ノ經過ヲ經タ今日ニ於テ其限度ヲ持ッテ  
居ルノデアリマス、即チ米トシマシテハ、  
當初ハ慥カ私ノ記憶デハ二億萬圓ガ借入限  
度ダト思ッテ居リマスガ、即チ制度ノ初メニ  
ハ二億萬圓デアリマシタ、丁度今ノ御話ノ  
生絲ノ三倍程度ノ借入限度デアッタノデア  
リマス、ソレガ震災ノ爲ニ米ガ燒ケマシタ  
リ、其他色々ノ損失ガ加ハッテ參リマシテ、  
ソレデ今日デハ借入限度ガ八億ニナッテ居

リマスガ、是ハ非常ナ長イ年月ノ間ニ是ダ  
ケ段々殖エテ來タト云フコトノ沿革ヲ一ツ  
能ク御諒承願ヒタイノデアリマス

**○篠原委員** 此運用ニ付テデアリマスル  
ガ、私ハ此絲ノ高値ヲ調節スルト云フヤウ  
ナコトニ付キマシテハ、賣渡價格ヲ決メル、  
例ヘバ幾ラデ賣渡ヲスルト云フ其價格ヲ決  
メマスレバ、實際ニ生絲ノ賣渡ヲ行ハナク  
テモ、絲價ノ昂騰ハ抑ヘラレルヤウニ考ヘ  
ルノデアリマス、サウスルト實際此運用ニ  
當リマシテ動キマスル所ハ、買入ノ機會バ  
カリガアルノデヤナイカ、安値ノモノヲ買  
入レル機會バカリガ多クナッテ來ルノデヤ  
ナイカ、サウナリマスルト此特別會計ハ非  
常ナ缺損バカリ生ズルヤウニナル虞レガア  
リマスルト思ヒマスルガ、如何デゴザイマ  
セウカ

**○井野政府委員** 高値ノ爲ノ賣渡價格、高  
値防ギノ爲ノ賣渡價格ヲ決メマシタ場合  
ニ、決メタダケデ高値ガ出ナイト云フコト  
ニナリマスレバ、非常ニ是ハ結構ダト思フ  
ノデアリマス、併シ私共ハヤハリ値ヲ決メ  
マシテモ、賣ル時機ハ必ズアルト思ッテ居  
リマス、併シ假ニ篠原委員ノ御説ノヤウニ、  
賣ル機會ガナクテ買フ機會ダケアッタ場合  
トシマシテハ、此特別會計ハドウナルカト

セウカ

セウカ

云フコトニ付キマシテハ、絲ニ付キマシテハ非常ニ特別ノ事情ガゴザイマシテ、即チ今マデ政府ガ持ッテ居リマスル生絲ニ付テ經驗ヲ致シタノデゴザイマスガ、新規用途、新規販路、即チ市場ニ影響ヲ與ヘズシテ、年一萬俵乃至二萬俵ノ絲ハ捌ケテ行クノデアリマス、デアリマスカラ假ニ買入價格デ絲ヲ買ヒマシテ、十萬俵ノ絲ヲ假ニ買ッタト致シマスレバ、五箇年間モ經チマスレバ、市場ニ影響ヲ與ヘナイデ捌キ得ルト云フ見込ヲ持ッテ居ルノデアリマス、隨テ特別會計ニサウ缺損ヲ與ヘルコトナシニ運用シテ行ケル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○篠原委員 現在政府デ持ッテ居リマスル滯貨生絲五萬俵、是ハ最早七八年モ經過シタモノデアリマスルガ、斯ウ云フ生絲ヲ此特別會計デ御持チニナッテ、高値ヲ抑ヘル効果ヲ發揮スルト一體御考ニナリマスルカ、ドウデアリマスルカ

○井野政府委員 生絲ハ米其他ノ穀物ト違ヒマシテ非常ニ長期保管ニ堪エ得ルト云フコトガ、此制度ヲ作りマス上ノ私ハ非常ナ大キナ強味ト考ヘテ居ルノデアリマス、現在持ッテ居リマス政府所有生絲五萬俵ハ、約七年ノ月日ヲ經テ居リマスルガ、其品質ニ

於キマシテ、新絲トサウ大差ハナイノデアリマス、無論色合其他多少品質ノ低下ハアリマスガ、之ヲ市場ニ賣出シマシタ場合ニ、市場ノ相場ヲ聞イテ居リマス、今日ノ國用生絲ヨリ餘程良イ、新絲ノ國用生絲ヨリ餘程良イ、斯ウ云フ評判ヲ得テ居ルノデアリマス、併シ調節力トシテ、之ヲ亞米利加ニ其儘持ッテ行ケルカドウカト云フコトニナリマス、私共ハ多少ノ疑問ハゴザイマスルガ、併シ國用生絲ノ良イモノニハ立派ニ匹敵致シマスルカラ、假ニ之ヲ賣出スト致シマスレバ、國內ノ需要ニ是ガ充テラレテ、國用生絲ノ一部分ガ輸出サレルト云フコトニナリマスカラ、結局市場ニ對スル操作ハ大キナ力ヲ持ツノデアリマス、現ニ政府ガ生絲ヲ持ッテ居リマシテ、昨年デアリマシタカ、是ハ新聞ノ報道ガ、政府ガ持ッテ居ル絲ヲ賣出スカモ知レスト云フコトガ市場ニ傳ヘラレマシタ時ニ、市場ハ大暴落ヲシタノデアリマス、如何ニ此生絲ガ市場ニ對シテ調節力ヲ有ッテ居ルカト云フコトハ、其邊デ御諒察願ヘルト思フノデアリマス

○篠原委員 生絲ノ共同保管ノコトニ付キマシテ御伺シタイ、絲ノ共同保管ト云フコトニ付キマシテハ、非常ナ失敗ヲシテ居ルト私ハ思フ、勿論巧ク行ッタコトモアリマ

スルガ、今日ノ滯貨生絲ノ問題ナドハ、其失敗ノ結果ダト思フノデアリマス、サウ云フ動モスルト非常ナ失敗ヲスル、所デ此方法デアリマスルガ、之ヲ法案中ニ置カレタト云フコトニ付キマシテノ政府ノ信念ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井野政府委員 共同保管ガ過去ニ於テ失敗シタト云フ御話デアリマスガ、無論其效果ガ十分ニ現ハレナカッタ時モアリマスガ、又非常ニ效果ヲ得タ時期モアリマスガ、現ニ大正九年ノ如キハ共同保管ノ爲ニ、非常ニ絲價ガ回復シマシテ、其效果ヲ擧ゲタノデアリマスガ、融資補償法ノ發動ノ時ハ色々ノ沿革上、人絹ノ進出等ヲ餘リ深ク考慮ニ容レマセヌ結果、ア、云フコトニナッタノデアリマスガ、今後行ヒマス共同保管ト云フモノハ、色々ノ事情ヲ頭ニ入レテ行フコトニナリマスカラ、隨テ過去ニ於テ假ニ失敗アリト致シマシテモ、サウ云フヤウナ歴史ハ繰返サナイ積リデ居ルノデアリマス、併シ製絲家トシマシテハ繭ヲ買ヒマス買入値段カラ絲ガ非常ニ下ッテ來マスト、兎角共同保管ニ依ッテ其損失ヲ補償シヨウト致シマス、サウ云フ點ニ非常ニ却テ危險ガアルノデアリマス、隨テ此法案デモ高値ノ場合ニ於テノ共同保管ヲ寧ロ認メナイ、買

入價格ニ近クナッテ來タ時ニ、初メテ共同保管ヲ認メルト云フ、或ル意味ニ於テハ、制限ノ規定トモ御解釋願ヒタイノデス、即チ絲價安定施設組合ガ出來マスレバ、法文ニ何等ノ規定ガナケレバ、何時デモ組合ノ運用トシテ共同保管ヲ爲シ得ルノデアリマス、併シソレデハ却テ非常ニ危險ガアルカラ、法文デハ買入價格ノ一定割合以上ノ値段以下デナケレバ共同保管ハシテハイカヌト云フ風ニ書イテゴザイマスカラ、ソレニ依ッテ一ツノ制限ヲ設ケマシテ、サウシテ共同保管ヲ嚴重ニ政府ノ監督ノ下ニ行ハシムルト云フコトニ致シマシタ、其規定ハ第十四條ニゴザイマシテ、絲價安定施設組合ハ生絲ノ市價ガ勅令ヲ以テ定ムル價格以下ニ低落シタル場合ニ限り生絲ノ共同保管ヲ行フコトヲ得」トアリマシテ、買入價格ノ大體今デハ一割程度ノ値段ト吾々ハ考ヘテ居リマスガ、ソレ以下デナケレバ共同保管ヲ許サヌ、斯ウ云フヤウニ致シタイト考ヘマス

○篠原委員 今ノ御話ノ場合ニ、成程絲價ガ下ッタ場合デナケレバ成ベク共同保管ヲシナイト云フ、結構デアリマスルガ、ソレデモ組合トシマシテハ、ヤハリ絲ノ共同保管ヲシマシタ後ニ、更ニ絲價ガ低落スル場

合ニ於テノ共同保管ヲ寧ロ認メナイ、買入價格ニ近クナッテ來タ時ニ、初メテ共同保管ヲ認メルト云フ、或ル意味ニ於テハ、制限ノ規定トモ御解釋願ヒタイノデス、即チ絲價安定施設組合ガ出來マスレバ、法文ニ何等ノ規定ガナケレバ、何時デモ組合ノ運用トシテ共同保管ヲ爲シ得ルノデアリマス、併シソレデハ却テ非常ニ危險ガアルカラ、法文デハ買入價格ノ一定割合以上ノ値段以下デナケレバ共同保管ハシテハイカヌト云フ風ニ書イテゴザイマスカラ、ソレニ依ッテ一ツノ制限ヲ設ケマシテ、サウシテ共同保管ヲ嚴重ニ政府ノ監督ノ下ニ行ハシムルト云フコトニ致シマシタ、其規定ハ第十四條ニゴザイマシテ、絲價安定施設組合ハ生絲ノ市價ガ勅令ヲ以テ定ムル價格以下ニ低落シタル場合ニ限り生絲ノ共同保管ヲ行フコトヲ得」トアリマシテ、買入價格ノ大體今デハ一割程度ノ値段ト吾々ハ考ヘテ居リマスガ、ソレ以下デナケレバ共同保管ヲ許サヌ、斯ウ云フヤウニ致シタイト考ヘマス

合モアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハヤハリ組合ガ缺損ヲ蒙ルコトガアラウト思ヒマスルガ、其缺損ノ補填ハドウ云フ風ニサセル積リデアリマセウカ

**○井野政府委員** 共同保管ハ絲價安定施設組合ガ自己ノ危険ニ於テスル譯デモナイ、組合員ガ共同保管ヲスルノデアリマス、其損失ガゴザイマス場合ニハ、組合員ガ損失ヲ負フコトニナルノデアリマス、併シ先程申上ゲマシタヤウニ、買入價格ヲ、今ノ所ハ一割ト假ニ考ヘテ居リマスガ、其程度以下デナケレバ共同保管ヲサセマセヌカラ、若シモ値ガ下ツタ場合ニハ、其絲ヲ組合ニ賣リマスレバ、買入價格ナラ何時デモ組合ハ買ハナケレバナラス、結局値下リノ損ト云フモノハ買入價格ノ一割限度ダケ、其限度ハ無論組合員モ覺悟ノ上デ共同保管ヲスル場合デナケレバ認メナイ積リデアリマス

**○篠原委員** ソレハ政府ガ其共同保管ヲ命ジタ場合デモ、政府トシテハ其損失ヲ補償スルコトハシナイノデスカ

**○井野政府委員** 此政府ガ命ジマス場合ハ、大體買入價格ニ達シタ時ニ命ズル積リデアリマス、即チ資金モ十分ニ用意シテゴザイマスケレドモ、其時ノ情勢デ或

ハ其資金デモ足りナイト云フコトモアラウカト思ヒマス、又共同保管ダケサセテ買ハナクテモ濟ム場合モアラウカト思ヒマス、即チ買入價格ニナリマシタ時ニ此共同保管ヲ命ズル、ソレ以上デハ命ジナイ積リデアリマス

**○篠原委員** 是ハ直接此法案デハアリマセヌガ、清算市場ノ取引ヲ自由ニシテ置カレテ、單ニ實物ダケノ賣買ニ依ッテ絲價安定ノ目的ヲ達シヨウトスルコト、ソレ自體ガ統制上甚ダ效果ノ薄イコトニナルト云フ御考ハナイデセウカ

**○井野政府委員** 生絲ハ輸出商品デゴザイマスカラ、實際ニ於テ實物ノ力ト云フモノハ非常ニ強イノデス、清算市場デ無論色々ノ思惑モゴザイマスガ、併シ結果ニ於テ生絲ノ數量ガ市場ニ出ルコトニ依リマシテ、清算市場ヲ十分ニ統制シ得ルノデアリマス、デ清算市場ニ對シマスル方策トシマシテハ、農林省ノ所管デハゴザイマセヌガ、商工省トモ色々打合ハシテ居リマシテ、現在ノ取引所ノ制度トシマシテ、色々價格統制上缺點ノアル點ガゴザイマスノデ、サウ云フ點モ併セテ改善シテ行カウト云フコトハ研究シテ居リマス、例ヘバドウ云フ問題デアアルカト云ヘバ、一日ニ絲ノ相場ガ非常

ニ多ク動く、今日デハ二百圓ハ動イテ宜イト云フコトニナッテ居リマス、併シソシナニ百圓ト云フヤウナ大キナ開キヲ認メテ居リマスコトハ不自然デアリマスカラ、ソレラ現在ノ事情ニ合ハシタ値段ニ業務規程ヲ改正スルナリ、又新古ノ格付問題ニ付キマシテモ、今日ノ實情ニ合フヤウニ改正シテ、受渡生絲ノ圓滑ヲ圖ッテ行クト云フコトニ付キマシテハ、目下商工省ト色々打合ハシテ改善シテ貰フヤウニ取計ッテ居リマス

**○篠原委員** 是モ今ノ問題ニ關聯シタ別ナ例デアリマスガ、此施設ヲヤリマシタ結果、生絲取引所ノ方ニ影響ヲ與ヘテ來テ、米穀統制法ノ場合ト同ジヤウニ、生絲取引所ノ方ノ救濟策ヲ考ヘナケレバナラヌト云フコトハ起リマセヌデセウカ

**○井野政府委員** 本案ヲ作りマス際ニ取引所方面デハ非常ニ本案ノ影響ニ付キマシテ心配ヲサレタノデアリマス、隨テ私自身神戸、横濱ニ參リマシテ、業者ヲ集メマシテ、能ク本案ノ内容ヲ説明致シマシタ所ガ、取引業者ノ方面デモ非常ニ納得サレマシテ、此程度ノ施設ハ我が蠶絲業界ニハ必要デアラウ、今日取引所トシテモ此程度ノ影響ハ我慢シナケレバナナルマイルト云フコトカラ贊意ヲ表サレマシテ、日本中央蠶絲會ニ諮問

シマシタ際ニモ、取引所ハ構成員デハゴザイマセヌガ、絲價安定委員會ト云フモノヲ日本中央蠶絲會ニ設ケマシテ、本案ヲ審議シマシタ際ニ、横濱、神戸ノ理事長ヲモ加ヘマシテ、サウシテ此案ヲ審議致シタノデアリマス、其結果大體此案ニ贊意ヲ表サレマシタ所カラ見マシテ、今御懸念ノヤウナ補償問題ハ起ラヌ、斯ウ云フ風ニ御諒承ヲ得タイノデアリマス

**○篠原委員** 私ノ質問ハ之ヲ以テ一應終ッテ置キマス

**○紫安委員長** 百瀬君

**○百瀬委員** 私ノ質問セントスルコトハ大體篠原委員ニ依ッテ盡サレタ形ニナッテ居リマスガ、本法ノ制定ニ依ッテ製絲家ハ絲價ノ定安ヲ得ルコトガ出來マシテ、養蠶家ハ繭價ニ對スル不安ハ依然トシテ免レナイト思ヒマス、サウ云フ感ヲ深カラシムルノデアリマス、ソレニ付テ本法ニハ法人タル施設組合ハ營利ヲ目的トシテ事業ヲ營ムコトガ出來ナイコトニ規定サレテアリマシテ、絲價委員會デ定メラレタ價格ニ對シテ、施設組合ノ製絲家側ガ殆ド申合ハセタヤウニ、最低價格ヲ基準トシテ算出スル繭價ニ依ッテ買入ヲ爲サントスル工作ヲ巧妙ニシタナラバ、繭ノ價格ト云フモノハ勢ヒ低下

シテ——寧ろ益、低下セシメテ養蠶家ノ生産費ヲ割ッテマデモ之ヲ投資シナケレバナライ、餘儀ナクサレト云フヤウナコトガ起リハシナイカ、元來製絲家ト養蠶家ト云フモノハ其利害關係ガ共通ノモノデナケレバナライノデアリマスケレドモ、時ニ或ハ利害相反スル所ノ結果ヲ見ルコトハ往往アルコトデアリマス、其實例ハ決シテ乏シクハナイノデアリマス、産業組合ノ養蠶業、養蠶家、蠶種製造家、是等三者ハ理想的ニ利害關係ガ共通ニ行クノデアリマス、個人製絲ノ場合ハドウシテモ利害相反スルヤウナ結果ヲ生ムコトガ往々ニシテアルノデアリマスカラ、本法ノ制定ニ依ッテ製絲家ハ成程或ル程度ニ安定サル、カモ知レマセヌガ、此制定ヲ巧妙ニ利用シテ、サウシテ最低ノ價格ヲ買入レントスル製絲家ガ工作ヲシタ場合、即チサウシタヤウナ一ツノ現ハレノアル場合ニハ、養蠶家ハ不測ノ危険ニ陥ルヤウナ憂ハナイカドウカ、此點ニ付キマシテ之ヲ防止スル上ニ於ケル、調節スル上ニ於ケル御考ガアルナラバ承ッテ置キタイ

○井野政府委員 絲價ガ或ル程度保障サレテモ、繭價ガ保障サレナケレバ養蠶農民ニ對シテ非常ニ不利デナイカ、殊ニ本施設ニ

依ッテ決ッタ買入價格ヲ絶エズ養蠶家ガ製絲家ニ買ハレルヤウデハ、非常ニ不利デヤナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、今日絲價ト繭價トノ關係ハ大體相關關係ヲ持ッテ居リマシテ、生絲ノ値段ニ繭ノ値段ガ引付ケラレル、又繭ノ値段ニ生絲ノ値段ガ引付ケラレルト云フヤウニ相關關係ヲ持ッテ居リマスガ、偶々繭ノ出廻期ニ於キマシテハ、生繭ガ市場ニ殺到致シマス爲ニ、絲價ト繭價トガ相關關係ヲ持タスト云フ時期ガアリマス、サウ云フ場合ハ先般御協賛ヲ得マシタ産繭處理統制施設ト云フモノガ段々擴充サレテ參リマスレバ、其開キガ非常ニ少クナッテ來ル、即チ養蠶家トシテ非常ニ不利デアレバ、乾繭ニシテ繭ヲ持チ得ラレマスシ、又此制度ガ出來テ來マスト、養蠶家トシテハ乾繭ニ致シテ置キマシテ、サウシテ若シモ買入價格ガ、生産費カラ換算シマシタ繭價以下ニ廻ルヤウナ場合ニハ、製絲家ニ賣ラナイ、自ラ加工致シマシテ、即チ委託製絲ナリ或ハ其他ノ方法ニ依リマシテ、生絲トシテ組合ニ持ッテ參リマスレバ、必ず最低價ノ保障ハ得ル譯デアリマス、デアリマスカラ繭價ト絲價トハ相伴ッテ來ル譯デアリマス、ソレト同時ニ又繭價ノ方ノ對策トシマシテハ、今後吾々モ欲シテ居リマス

シ、又製絲家、養蠶家モ欲シテ居ルノデアリマスガ、繭價協定委員會ヲ各地方ニ出來ルダケケテ行カウ、殊ニ製絲家工賃等ガ委員會デ或ル程度公定的ニ決デ參リマスカラ、ソレ等ヲ加味シテ參リマスレバ、其年ノ絲價ト繭價トノ開キヲ不自然ニナラシメズシテ、繭價ヲ決定シ得ルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、繭價協定委員會ト云フヤウナモノ、普及ヲ圖リマシテ、絲價ト繭價トノ不自然ヲ開キヲ少クセシムルト云フ方策モ講ジテ參リタイト考ヘテ居リマス、又百瀬委員ノ御心配ノヤウナ、絲ガ高いニ拘ラズ、繭ノ買入價格ヲ決メタガ爲ニ、ソレニ引張ラレルト云フ御心配ハ、私ハナカラウト思フノデアリマス、絲ガ相當高ケレバ製絲家トシテハ其相場ヲ基準トシテ買入價格ヲ決定シマスカラ、若モ其買入價格ヲ非常ニ低イ値ニ決メマシテモ、養蠶家ハサウ云フ値デハ今日ハ賣ラナイコトハ當然デアリマスカラ、絲價ト云フモノガ、大體亞米利加ノ需要ニ依ッテ決ッテ參リマス實情カラ見マシテ、御心配ノヤウナコトハナカラウト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

蠶ニシテモ、春蠶ニシテモ、繭ノ出廻ト云フモノハ殆ト同一時期ニ出廻リマス、而シテ養蠶家ハ直チニ其生産繭ヲ金ニ換ヘナケレバナライト云フ急用ニ迫ッテ居ルモノデアリマス、ソコニ從來ノ慣行カラ言ヒマシテモ、製絲家ニ依ッテ直チニソレヲ金ニ換ヘルト云フ次第デアリマスカラ、若シ製絲家ガ所謂買止ノヤウナ工作ニ出ヅルトスラバ、ソレガ爲ニ養蠶家ト云フモノハ、産繭處理ニ依リ、極メテ慎重ナル關心ヲ拂ハナケレバナライナクナル、其應急ノ金ニ換ヘルト云フ場合ノ處理ニ付テハ、一般ニ養蠶家ガ非常ニ迷ハサレルヤウナ事態ニ遭遇シテ居ル、隨テ多少安クモ之ヲ金ニ即時ニ換ヘナケレバナライト云フヤウナコトヲ餘儀ナクサレル場合ガアル、ソレガ養蠶家ノ直チニ金ニ換ヘタイト云フ氣持ノ所謂弱點デアリマス、ソレニ乘ジテ益、製絲家ガ巧妙ナル工作ヲ施スト云フヤウナコトガ有リ得ラレル、産繭處理ノ總テノ設備ガ完成シタ上ニハ其憂ハ稍々緩和セラル、ノデアリマスケレドモ、ソコニ何トカ方法ハナイノデアリマセウカ、當局ハ其邊ニ十分ノ考慮ヲ拂ハレテ居リマスカ、モウ一應伺ヒマス

○井野政府委員 今御話ノ點ハ、是ハ行政

ノ運用ニ依リマシテ私共ハ相當ニ目的ヲ達シ得ルト思フノデアリマス、例ヘバ製絲家ガ一緒ニナッテ一ツ繭ヲ安ク叩イテヤラウト云フノデ、不賣的ノ決議ヲスルト致シマスレバ、サウ云フ決議ハ、製絲業組合聯合會トカ云フ公共的ノ機關デ決メナケレバ拘束力ヲ持チマセヌカラ、隨テサウ云フ機關デ決議スレバ、無論農林省トシテハ其認可ヲ致シマセヌ、又サウ云フコトノナイヤウニ蠶絲當局ハ絶エズ指導シテ行カナケレバナラス、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、御話ノ點ハ大體行政上ノ指導宜シキヲ得テ行キマスレバ、其懸念ハナカラウカト斯ウ考ヘテ居リマス

○百瀨委員 生産ノ統制ハ立法的ニハ成ベク之ヲ避ケテ、自治的統制ヲ望ムモノデアリマスガ、生存競争ノ避クベカラザル現在ノ情勢ニアリマシテハ、已ムヲ得ナイ結果デアリマス、政府ハ蠶絲業ノ全面的ノ適正ナル生産統制ヲシテ、斯業ノ向上發展ヲスルト云フコトガ、適當ナル價格ノ維持ヲ爲シ、業者ノ不安ヲ除去スル所以ダト思フノデアリマスガ、政府ハ絲價ノ安定施設ト同時ニ養蠶、蠶絲ノ根本的統制ヲスルト云フ御意思ガナイモノデアリマセウカ、先刻ノ他ノ委員ノ御質疑ニ對スル御答ノ中ニモ、

其片鱗ハ伺フコトガ出來マシタガ、全面的ノ蠶絲業ノ統制ヲスル御意思ガアルカドウカ、現在ニ於テハサウ云フ御考ガナクモ、近キ將來ニ於テサウ云フヤウナ御考ガアルカドウカ

○山崎國務大臣 百瀨君ノ御意見ハ御尤モノ次第トモ考ヘマスガ、何分ニモ非常ニ全體ノ關係ト申シマス、非常ニ多岐ニ互ッテ居ル譯デアリマスノデ、是ハ今後ニ於キマシテ諸般ノ施設ヲ講ジテ目的ヲ達スルヤウナ風ニ考ヘテ行クノ外ハナイカト思ッテ居リマス

○百瀨委員 ソレデ一寸御伺シタイノハ、本法ノ第三十一條ノ「主務大臣絲價安定上必要アリト認ムルトキハ絲價安定施設組合其ノ他命令ヲ以テ規定スル蠶絲業者ノ團體ノ組織員ニ對シ蠶種、繭又ハ生絲ノ生産、保管又ハ販賣ニ關スル其ノ團體ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得」斯ウ規定サレテアルヤウデアリマスルガ、此三十一條ノ必要アリト認メタ場合ハ如何ナル場合ヲ謂フノデアリマスカ、蠶絲業者ノ團體ノ組合員ニ對シ「ト云フ此解釋ニ對シテ御伺シタイ

○井野政府委員 先程大臣カラ御答申上ゲマシタヤウニ、蠶絲業ニ對シテ全面的ノ生産統制ヲシマスコトハ中々困難デゴザイマシテ、今後或ハ原蠶種ノ國家管理ナリ、又場合ニ依リマシテハ普通蠶種ノ國家管理ト云フヤウナ問題ニモ觸レテ行カナケレバナラスト思ヒマスガ、現在ノ情勢ニ於キマシテ、絲價安定施設組合ト相俟ッテ此程度ノ生産統制ヲ致スト致シマスレバ、自治的統制ニ俟ツヨリ外現狀デハ途ガナイノデアリマス、併シ自治的統制ダケニ任セテ置キマシテハ、十分ノ效果ヲ達シ得ナイト云フコトモ考ヘラレマスノデ、自治的統制ヲ致シマシタ際ニ、ソレヲ補強シマスル手段トシテ、政府ガ其自治的統制ニ從フベキ命令ヲ發スルト云フコトガ三十一條ノ規定デゴザイマス、言ヒ換ヘテ見マスレバ、例ヘバ此所ニゴザイマスル「命令ヲ以テ規定スル蠶絲業者ノ團體」ト申シマスル一ツノ例ハ、例ヘバ全國養蠶業組合聯合會アタリデ繭ノ生産ノ自治的決議ヲ致シマシタ際ニ、其當時ノ情勢カラ見テ政府ガ必要アリト認メマスレバ、其團體員ニ對シマシテ、其決議ニ從ハシムルト云フコトヲ、主務大臣ノ命令トシテ發スル譯デアリマス、サウシマスレバ其命令ニ從ハナケレバ、自治ノ制裁以外ニ別ニ處罰ガゴザイマスカラ、相當ニ從來ノ自治的決議ヨリ非常ニ效果ガアルモノニナル

ト云フ意味デ三十一條ヲ規定シタ次第デアリマス

○百瀨委員 自治的統制ハ成程ソレヨリ仕方ナイデセウガ、蠶種業者ガ全國デ五千有餘名アリ、之ヲ統制シテ蠶種ノ製造制限ヲ行ハウトシテモ、一寸不可能ナヤウナ感じガスルノデアリマス、共同施設組合ヲ設クルト云フ施設ガ行ハレマシテモ、一箇年十組合、十箇年計畫デハ百組合ト云フヤウナ譯デ、所謂當座ノ間ニ合ハナイ、又養蠶實行組合ニ依リマシテ、掃立制限ヲナサルト致シマシテモ、全國二百萬以上ノ養蠶家ヲ統制スルト云フコトハ、殆下自治的ニハ不可能ナヤウニ思ハレルノデアリマス、隨テ自治的統制ニ俟ツト云フコトニ付テハ、今後收拾スベカラザル困難ナ事態ニ逢スルモノデアリハシナイカ、斯様ニ考ヘル者デアリマスルガ、生絲ノ價格安定ヲスル理想のノ根據トシテハ、ドウシテモ養蠶蠶種ノ根本的統制ヲ實現スルノデナケレバ、イカスト考ヘラレルノデアリマス、自治的統制ヲ——此複雑ナル各業者ノ統制ガ自治的ニ可能的ナモノト御認メニナリマスカ、其邊ニ付テ伺ヒタイ

○井野政府委員 從來カラモ製絲等ニ於キマシテハ、モウ自治的統制ヲヤッテ居ルノ

第六類第五號 絲價安定施設法案外一件委員會會議錄 第三回 昭和十二年三月二日

デアリマス、非常ナ事態ガ生ジテ参リマシテ、養蠶蠶種方面デモ自治的統制ヲ致シタイト云フ場合ニハ、今日全國養蠶業組合聯合會、或ハ全國蠶種業組合聯合會ガアリマシテ統制決議ヲ爲シ得ルヤウニナッテ居リマス、隨テソレ等ノ團體デ決議ヲ致シマスレバ、相當ノ效果ハアラウト思ヒマス、無論絶對的ノ統制ト云フコトハ、是ハ二百萬戸ノ養蠶家ニ對シ、又四五千ノ蠶種業者ニ對シテ出来ナイコトハ是ハ御説ノ通りデアリマス、併シ或ル程度ノ自治的統制ハ出来得ルト思ヒマス、之ニ對シテ又國家モ或ハ桑園整理改植ノ手段ナリ、其他ノ色々ノ手段ト相俟ッテ行ケバ、相當ノ生産統制ハ今日ノ状態ニ於テモ出来ルト考ヘテ居リマス

**○百瀬委員** 絲價ヲ制定スル委員會ノ組織ハ一般養蠶家ヲ保護スルト云フ建前カラ見マスレバ、極メテ重大ナ役割ヲ演ズルモノト考ヘラレルノデアリマス、委員會ノ組織ノ内容ヲ具體的ニ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、御差支ヘナイ範圍ニ於テ其數、種類等ヲ……

**○井野政府委員** 絲價安定委員會ノ組織權限ニ付キマシテハ勅令ヲ以テ定メルノデゴザイマスガ、今日大體其内容トシテ決メタイト思ッテ考ヘテ居リマス事柄ハ、組織者ト

致シマシテハ養蠶家、蠶種製造業者、製絲業者、問屋、輸出業者、取引業者等ノ代表者ヲ主トシテ網羅シマシテ、ソレニ學識經驗者ヲ加ヘ、更ニ又關係各省ノ官吏ヲ或ル程度加ヘマシテサウシテ組織致シマス、其數ハ大體豫算デハ二十名トナッテ居リマシマスガ、臨時委員制度ヲモ設ケタイト思ッテ居リマシマスカラ、其時ノ情勢ニ依リマシテ、相當數ノ委員會ガ組織シ得ラレルモノト斯ウ考ヘテ居リマス

**○百瀬委員** 私ノ伺ヒタイノハ其委員ノ數ハ二十名デアリマシテモ、製絲家側ヲ代表スル委員、養蠶家側ヲ代表スル委員ノ振合ヒヲ聞キタイノデアリマス

**○井野政府委員** マダ今何名ヅツ出スト云フヤウナ具體的ナ事柄ハ決メテ居リマセヌガ、大體公平のニ組織サセタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

**○百瀬委員** 其委員デアリマスガ、從來ノ總テ斯ウシタ委員ノ組織ナドヲ見マスト云フト、例ヘバ製絲同業組合ノ組長デアルトカ、或ハ蠶絲同業組合ノ組長デアルトカ、養蠶組合ノ組長デアルトカ、而シテソレ等ノ組長ハ實務ニ遠ザカッテ居ル者ガ選任サレル傾キガアルト思フノデアリマス、私ノ要望スル所ハ專門家ニシテ而モ實際ヲ代表

スル程度ノ委員ヲ選任スルデナケレバ、其委員會ノ審議決定ノ上ニ、洵ニ遺憾ノ結果ヲ招來シヤシナイカト云フコトガ憂慮ニ堪エナイノデアリマス、成ベク團體ヲ統裁スル所ノ人モ必要デアリマセウケレドモ、寧ロ實際ニ遠ザカラザル實務ヲ代表スルヤウナ者ヲ御選任ニナルヤウナ御方針ニ、出デラレル御考ガアルカナイカ、ソレヲハッキリ御伺致シタイ

**○山崎國務大臣** 此委員ノ組織ノ極メテ大切ナルコトハ、百瀬君ノ仰セノ通りデアリマシテ、只今百瀬君ノ御述べニナリマシタ御趣意ハ、大イニ傾聽ニ値スルト考ヘテ居リマス、實際ノ組織ニ當リマシテハ、其邊ノ御意見ハ十分尊重致シマシテ、遺憾ナキヤウニシタイト考ヘテ居リマス

**○百瀬委員** 私ノ質問ハ尙ホ殘ッテ居リマスガ、次會ニ御許シ願ヒタイト思ヒマス

**○紫安委員長** 宜シウゴザイマス——平野君ハ御質疑ノ外ニ何か御要求ガアルヤウニ聽イテ居リマシタガ、如何デス

**○平野委員** 一寸資料ヲ要求致シマス、繭ノ生産費ニ關スル資料ヲ戴キマシタノデアリマスガ、帝國農會、農林省及ビ養蠶組合聯合會ノ各一貫目或ハ三圓デアルトカ、四圓デアルトカ云フコトノ内容ニ付テ、ドウ

云フ計算デ斯ウ云フヤウニナッテ居リマスカ、其内譯ニ付テ其計算方法ヲ一ツ御示シ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ全國各府縣ノ繭一貫目ニ對スル生産費ガ出テ居リマスガ、府縣ニ依ッテ大分差ガアルノデアリマス、之ヲ成ベクナラバ詳細ニ、ドウ云フ關係デ斯ウ云フヤウニ差ガ出テ居ルノカト云フコトヲ、一見シテ分ルヤウニ御示ヲ願ヒタイノデアリマス、併シ成ベク詳細ト云フ意味ハ、時間ノ關係モゴザイマスカラ、ソレナニ微ニ入り細ニ入ラスデモ宜イノデアリマスガ、何ガ原因デ青森縣ガ二圓五十六錢、長野縣ガ四圓ナンボト云フヤウナ差ガアルノデアリマスガ、ソレヲケテ伺ッテ置キマス

**○紫安委員長** 本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後零時四分散會